

飲酒運転が伴う交通事故実態 (令和2年～令和6年 5年累計)

令和7年1月
北海道警察本部交通企画課



飲酒運転根絶ロゴマーク

〈 目 次 〉

- 1 北海道における飲酒事故・飲酒死亡事故件数の年別推移（平成3年～）
- 2 発生月別、時間帯別発生状況
- 3 発生曜日別、地形・道路形状別発生状況
- 4 事故類型別、1当年齢層別発生状況
- 5 1当通行目的別発生状況
- 6 1当法令違反別構成率比較
- 7 1当危険認知速度別構成率比較、死亡事故率比較

（注） 3～8については過去5年（令和2年～令和6年）の累計値を分析

〈 用語の定義 〉

【飲酒運転】

1当原付以上の運転者による交通事故（人身事故）で、飲酒状況が「酒酔い」「酒気帯び」「基準以下（基準値未満）」「検知不能」のいずれかに該当する場合をいう。

【飲酒事故】

飲酒運転による人身交通事故（死亡事故含む）

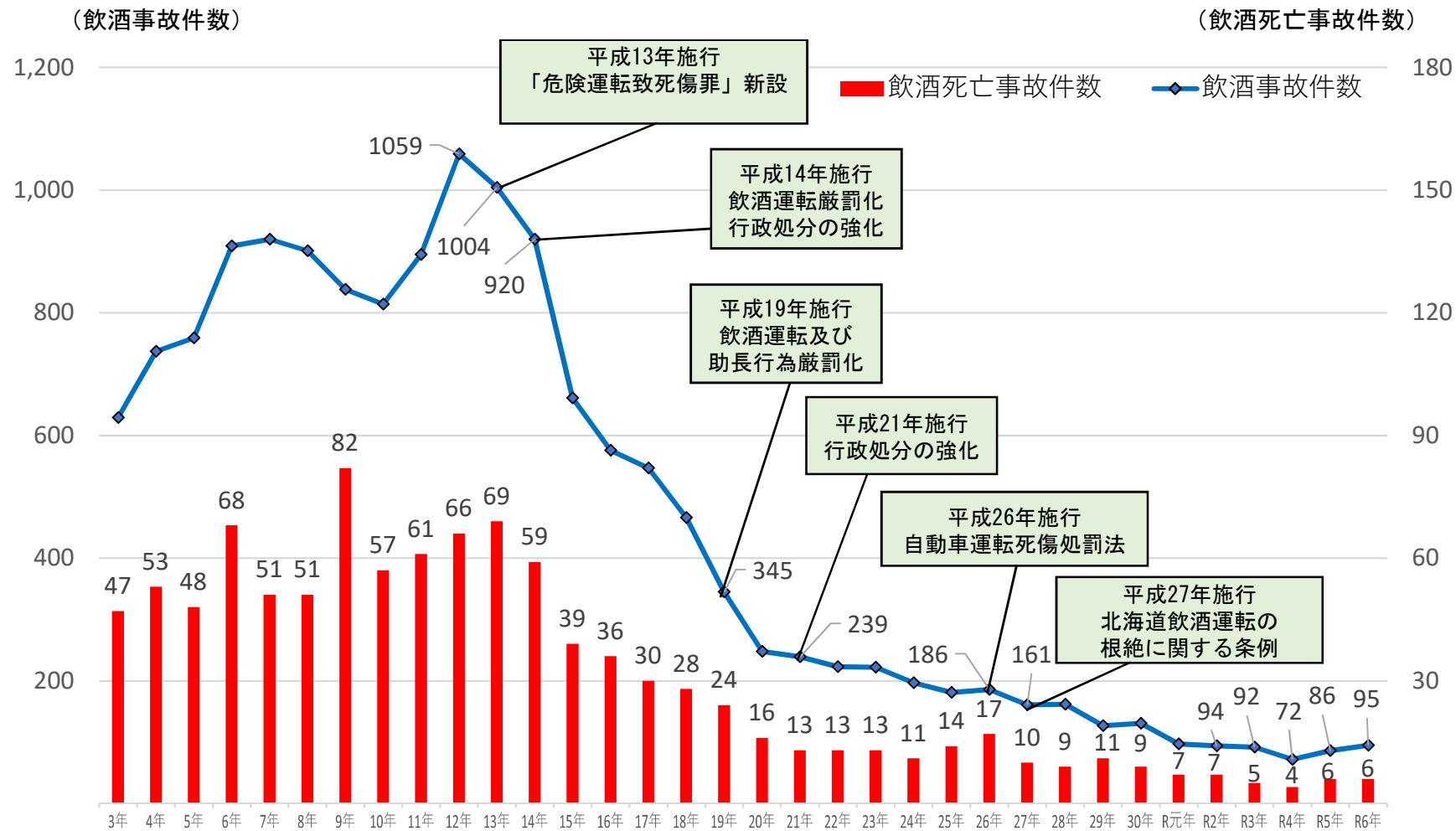
【飲酒死亡事故】

飲酒運転による死亡事故

【1当】

最初に交通事故に関与した車両等（列車を含む。）の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者、又は過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいい、本資料中の「1当」とは、第1当事者を省略した表記である。

1 北海道における飲酒事故・飲酒死亡事故件数の年別推移



平成11年11月
東名高速 幼児2人死亡事故

平成18年8月
福岡県 幼児3人死亡事故

平成26年7月
小樽市 4人死傷事故

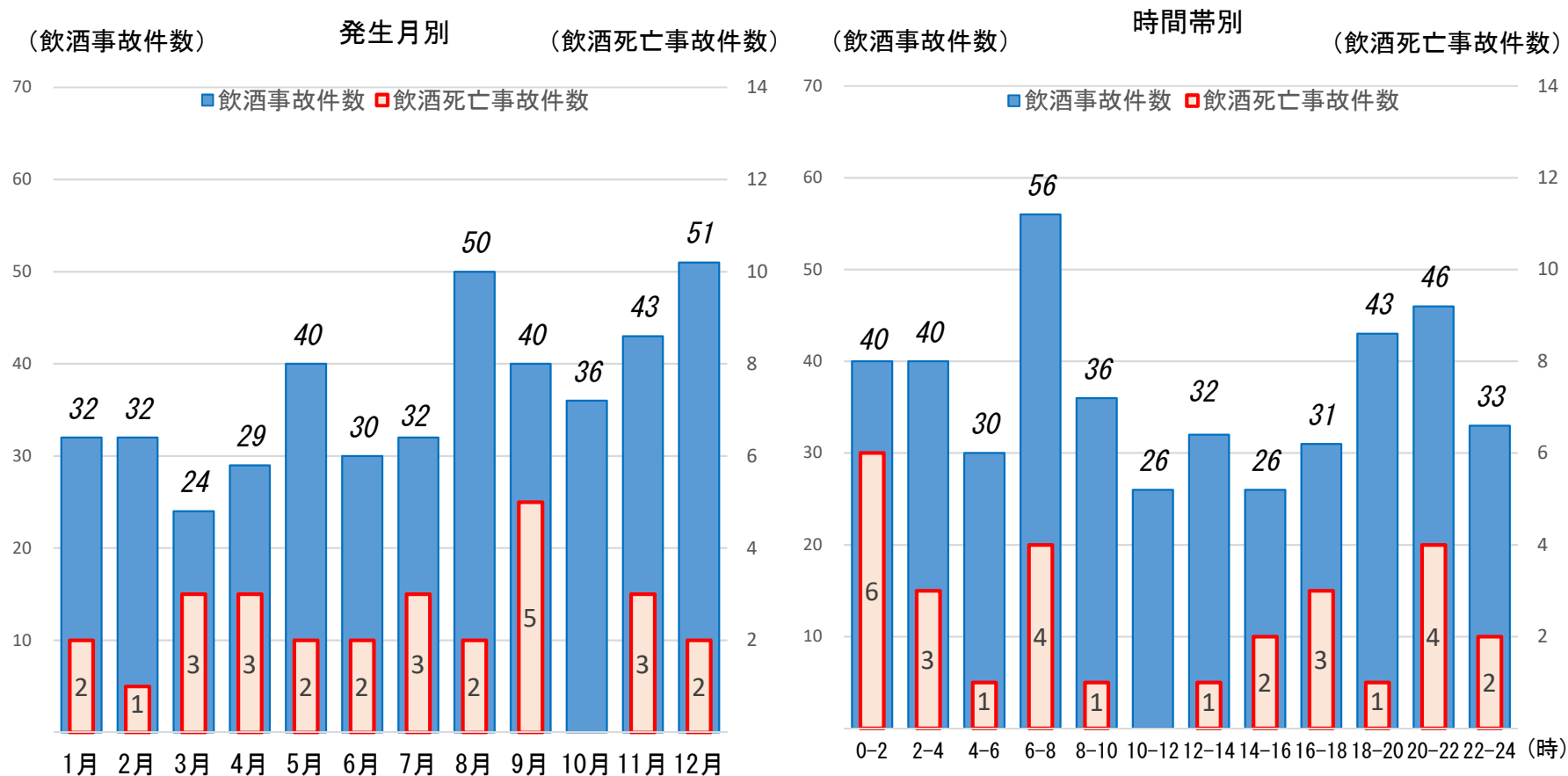
平成27年6月
砂川市 一家5人死傷事故

〈参考〉

	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
全交通事故件数	26,034	25,230	25,399	26,553	27,606	27,168	25,759	28,153	29,566	30,806	30,531	28,674	28,811	27,844	28,384
全死亡事故件数	537	543	552	558	597	552	570	496	505	494	476	463	367	361	288

18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年
26,967	23,582	21,091	19,503	18,088	16,395	14,973	13,722	12,274	11,123	11,329	10,815	9,931	9,595	7,898	8,304	8,457	9,082	8,743
258	265	217	205	203	183	184	178	157	168	149	144	130	148	136	119	113	118	101

2 発生月別、時間帯別発生状況



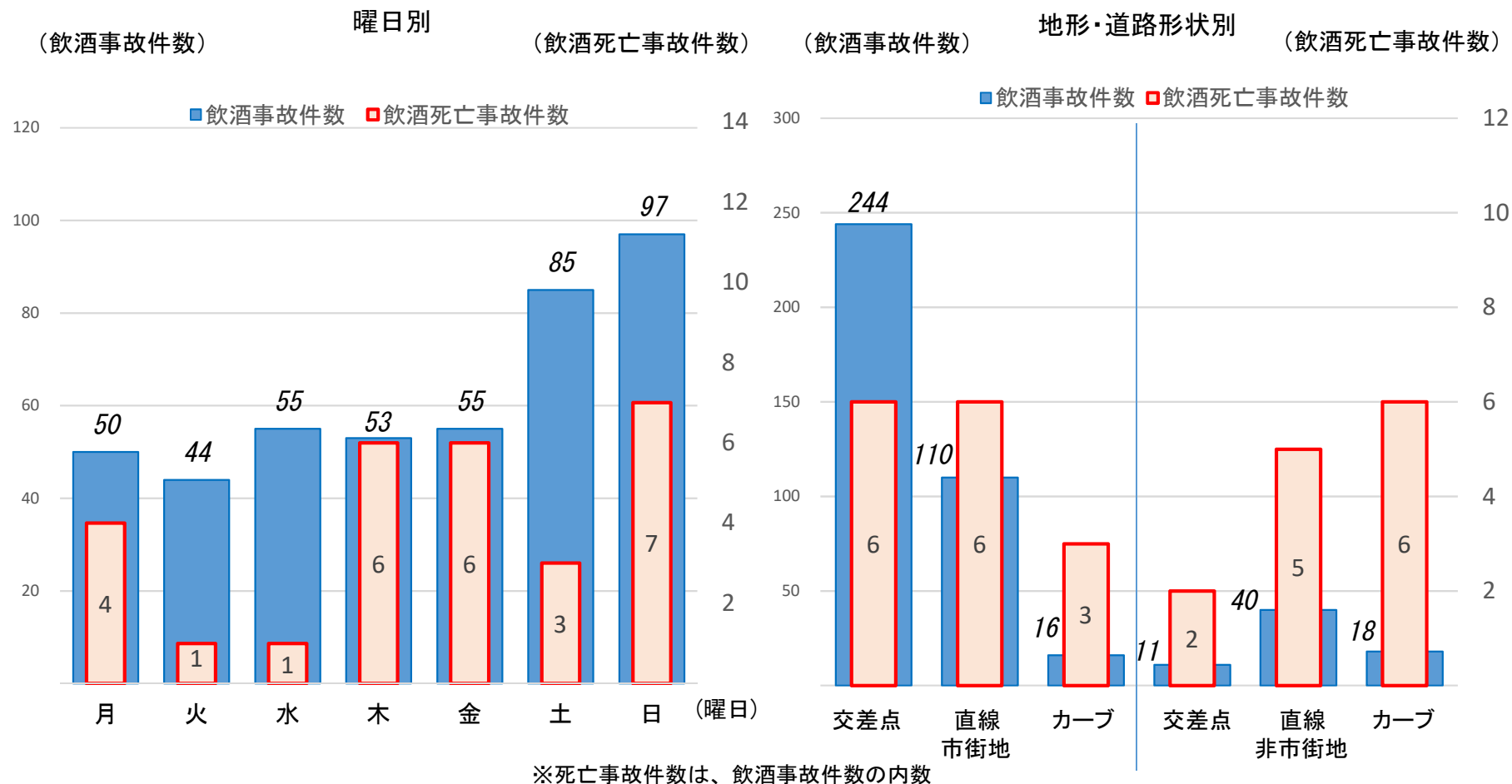
※死亡事故件数は、飲酒事故件数の内数

- ・ 飲酒事故は12月が51件 (11.6%) で最も多く、次いで8月が50件 (11.4%) で多い。
- ・ 同死亡事故は9月5件 (17.9%) で最も多い。

※R2～R6年中に計上された原票に基づき、発生月別で掲載

- ・ 飲酒事故は6～8時が56件 (12.8%) で最も多く、次いで20～22時が46件 (10.5%) で多い。
- ・ 同死亡事故は0～2時が6件 (21.4%) で最も多く、次いで6～8時、20～22時が各々4件 (14.3%) で多い。

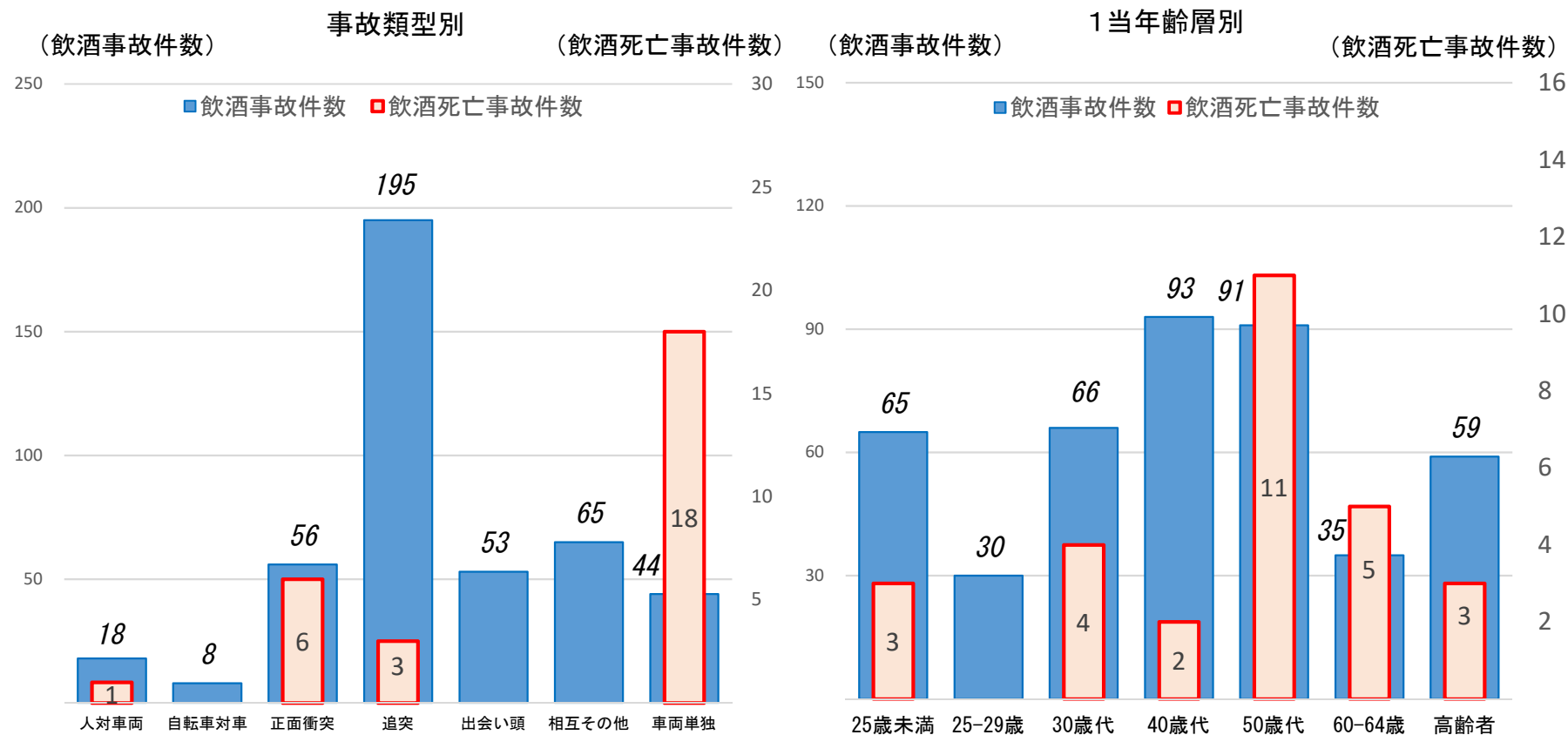
3 発生曜日別、地形・道路形状別発生状況



- ・ 飲酒事故は日曜日が97件 (22.1%) で最も多く、次いで土曜日が85件 (19.4%) で多い。
土・日曜日の週末で4割以上を占めている。
- ・ 同死亡事故は日曜日が7件 (25.0%) で最も多く、次いで木・金曜日が各々6件 (21.4%) で多い。

- ・ 飲酒事故は市街地交差点が244件 (55.6%) で最も多く、次いで市街地直線が110件 (25.1%) で多い。
市街地での発生が8割以上を占めている。
- ・ 同死亡事故は、市街地交差点・市街地直線・非市街地カーブが各々6件 (21.4%) で最も多い。

4 事故類型別、1当年齢層別発生状況

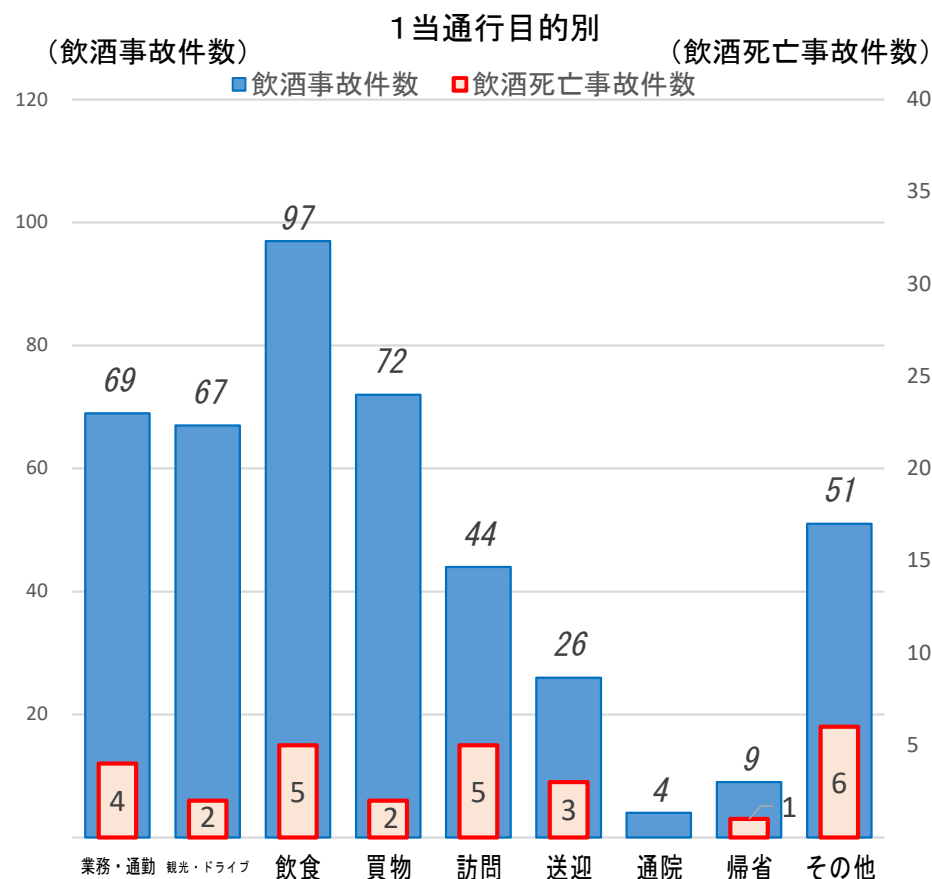


※死亡事故件数は、飲酒事故件数の内数

- ・ 飲酒事故は追突が195件 (44. 4%) で突出して多い。
- ・ 同死亡事故は車両単独が18件 (64. 3%) で突出して多い。

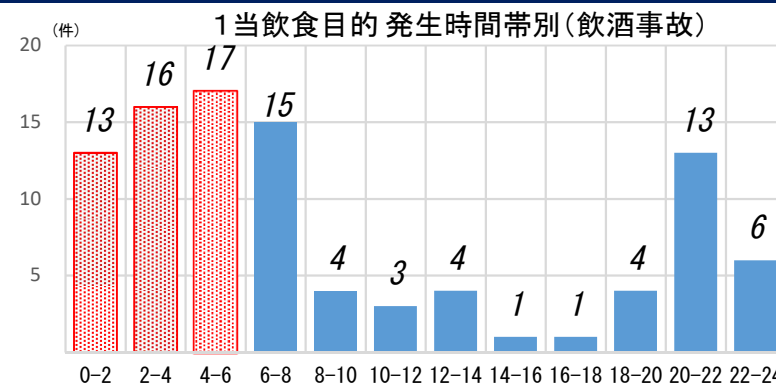
- ・ 飲酒事故は40歳代が93件 (21. 2%) で最も多く、次いで50歳代が91件 (20. 7%) で多い。
- ・ 同死亡事故は50歳代が11件 (39. 3%) で最も多く、次いで60-64歳が5件 (17. 9%) で多い。

5 1当通行目的別発生状況

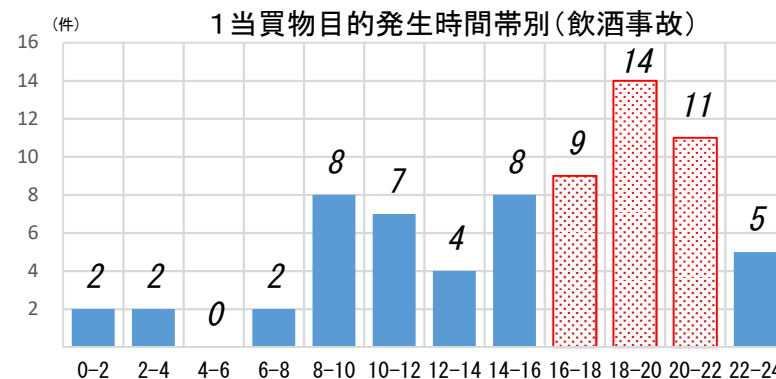


- ・ 飲酒事故は飲食が97件 (22.1%) で最も多く、次いで買物が72件 (16.4%) で多い。
- ・ 同死亡事故は飲食・訪問が各々5件 (17.9%) で最も多く、次いで業務・通勤が4件 (14.3%) で多い。

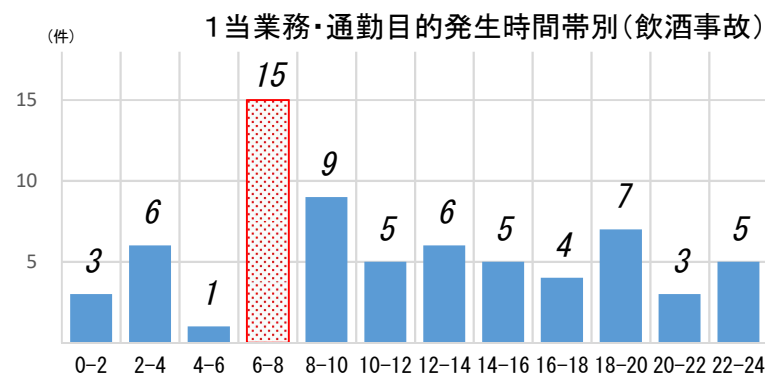
※死亡事故件数は、飲酒事故件数の内数



- ・ 0～6時までの、深夜帯から朝に掛けて多い。

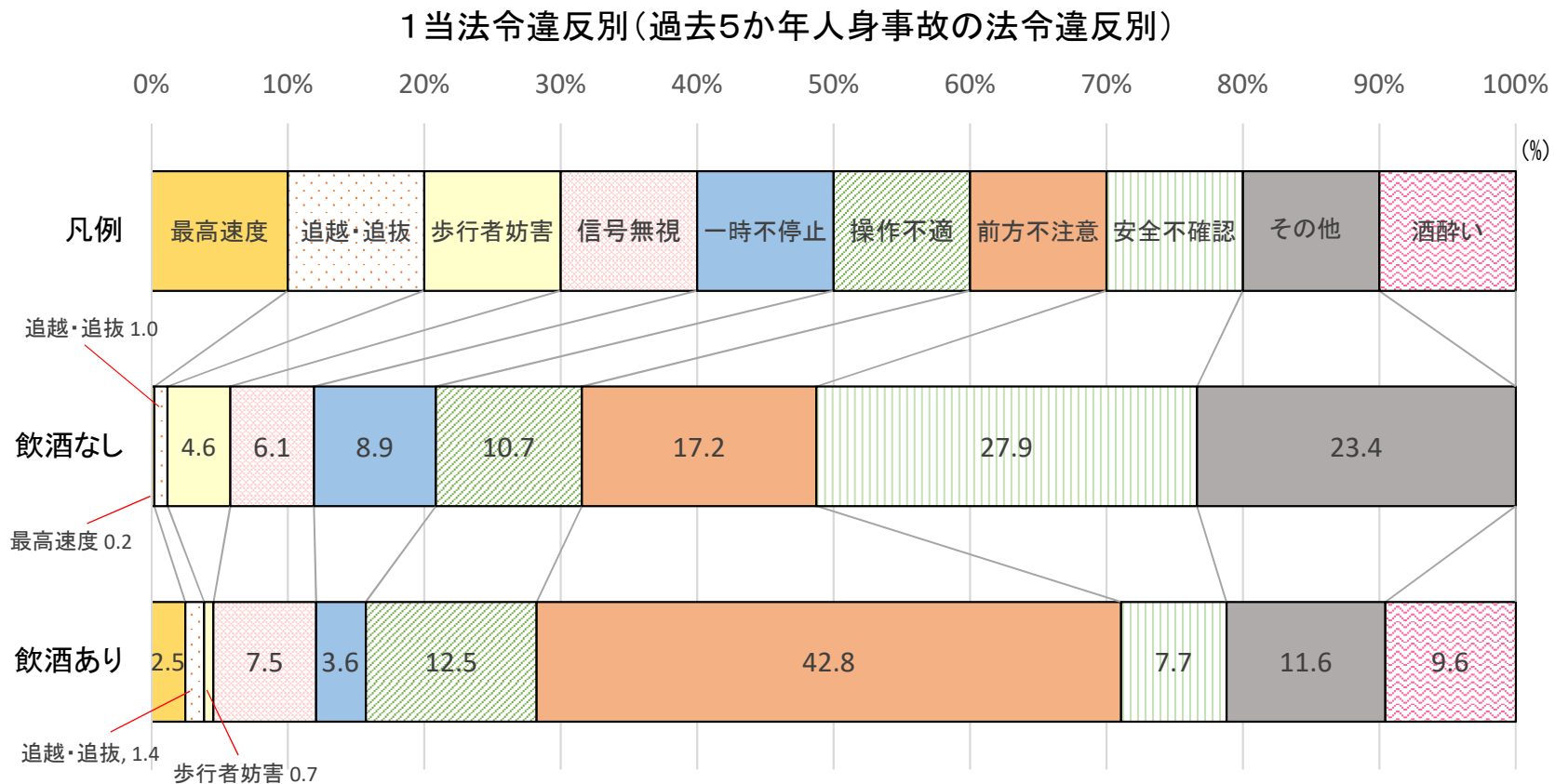


- ・ 16～22時までの、夕方から夜間に掛けて多い。



- ・ 6～8時までの、朝方の通勤時間帯が最も多い。

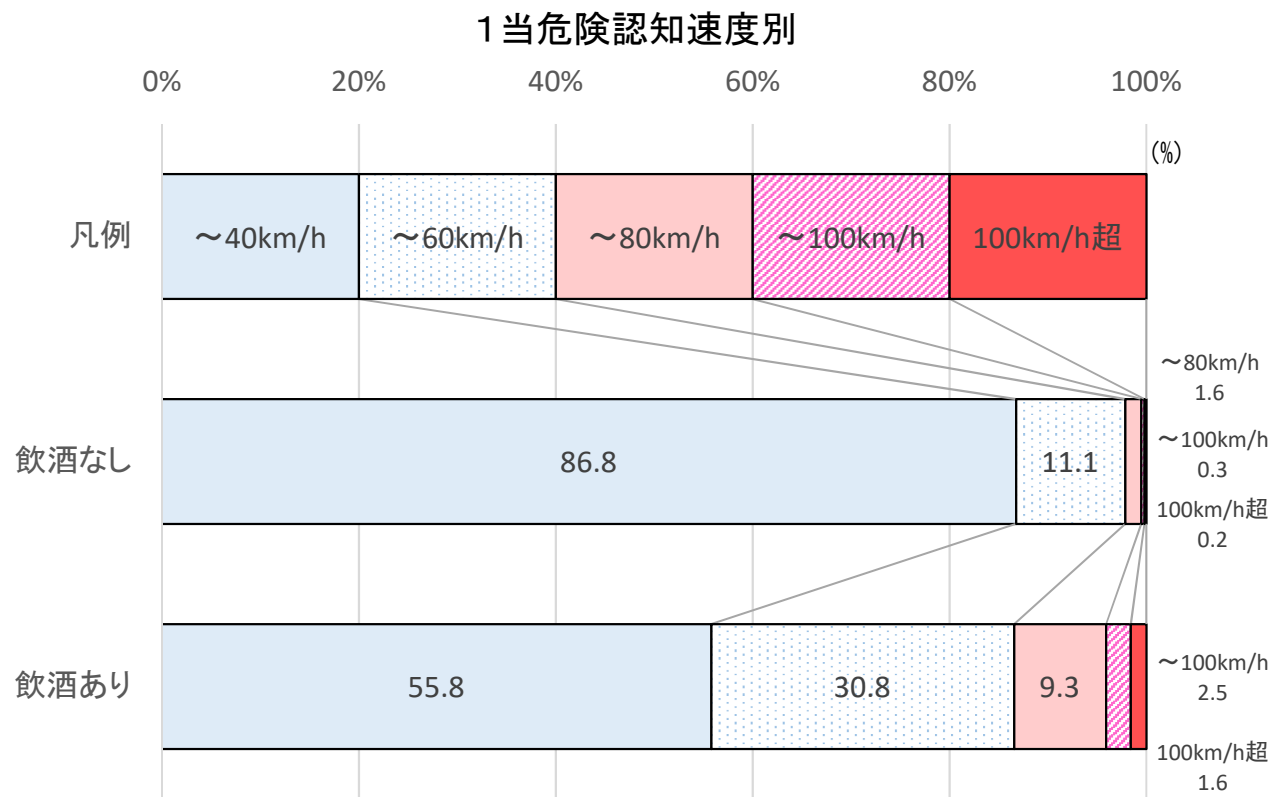
6 1当法令違反別構成率比較



・法令違反別構成率を比較すると、「飲酒あり」は最高速度（「飲酒なし」の12.5倍）前方不注意（同2.5倍）の構成率が高い。

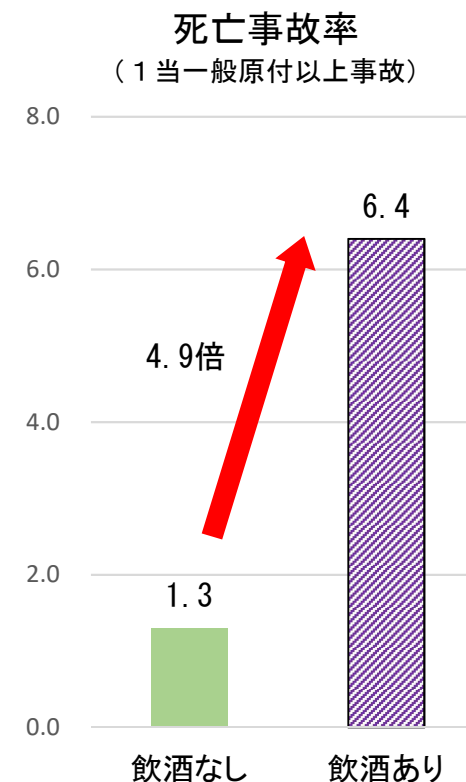
※少数第2位を四捨五入しているため
合計は100%にならない場合がある。

7 1当危険認知速度別構成率比較、死亡事故率比較



- ・ 1当危険認知速度別構成率を比較すると、「飲酒あり」は40km/hを超える速度域の構成率が高い。

※ 危険認知速度とは、運転手が相手方車両等、列車、人、駐車車両又は物件等を認め、危険を認知した時点の速度であり、具体的には、ブレーキ、ハンドル操作等の事故回避行動をとる直前の速度を言う。



※死亡事故率
 $\text{死亡事故率} = \frac{\text{死亡事故件数}}{\text{交通事故件数}} \times 100$
 (人身事故100件あたりの死亡事故件数)

- ・ 死亡事故率を比較すると、「飲酒あり」は「飲酒なし」の4.9倍。

飲酒運転を

しない

させない

許さない

約束だべや

そして
見逃さない!

道民みんなでゼロを実現

～7月13日は飲酒運転根絶の日～

【交通安全対策七者連絡会議】
北海道、北海道教育委員会、北海道警察、札幌市、公益社団法人北海道交通安全推進委員会
一般財団法人北海道交通安全協会、一般社団法人北海道安全運転管理者協会

飲酒運転、発見したら
警察に通報!

飲酒運転情報提供サイト
「飲酒運転ゼロプロジェクト」を参照して下さい。

飲酒運転根絶!! 飲酒運転は

犯罪です

交通安全アドバイザー
信野樹奈さんからのお願い!

- 飲んだら運転しない!
- 飲んだ人に運転させない!
- 運転する人に飲ませない!

信野樹奈

札幌西交通安全協会・安全運転管理者事業主会西支部・西地区安全運転管理者協会・札幌西警察署・株Cradle・ことにアイドルプロジェクト・琴似飲食業組合

飲酒運転 ゼロボックス



飲酒運転を**ゼロ**にするために！

北海道警察ホームページ上に、飲酒運転情報
専用メールボックスを設置していますので、
ぜひ情報をお寄せ下さい。

飲酒運転を
している人

運転者に酒類
を提供している
飲食店など

●右記QRコードからアクセス可能 →

**ただし「今まさに運転を開始しそう」など
すぐに対応が必要な場合は110番通報を！**

